

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	411	施策	就学前の教育・保育の充実
管理事業	公立保育所等事業	所管部局	児童部

1	所管室課	子育て政策室	事業名	公立保育所民営化推進事業	
事業概要					
公立保育所民営化推進					
活動実績					
(1) 西山田保育園借地料助成 令和2年4月1日に移管した西山田保育園について、移管先事業者が大阪府住宅供給公社に支払う、保育所敷地に係る借地料を助成した。 (2) 福祉サービス第三者評価受審費助成 民営化園の評価及び民営化効果を検証するため、福祉サービス第三者評価事業を受審した民営化園(西山田保育園)の受審費用を助成した。		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 現民営化実施計画での取組を円滑に進めていく。
		決算額(千円)	4,835	6,960	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 保護者・園児に負担がかからないよう、円滑に事業者に運営を引き継いでいくことが課題だと認識している。					

2	所管室課	保育幼稚園室	事業名	公立保育所運営事業	
事業概要					
通常保育、発達支援保育、緊急一時保育					
活動実績					
【職種統合に伴う保育士の幼稚園教諭免許取得による拡充】 【新型コロナウイルス感染症対策による拡充】 (1) 通常保育 公立保育所における保育の実施及びその運営に必要な経費(会計年度任用職員の給料支払い、被服や賄材料の購入等)の執行に関する業務を行った。 ・入所児童数(各年度4月1日現在) 令和元年度・・・1,717人(14園)、令和2年度・・・1,567人(13園)、令和3年度・・・1,549人(13園) (2) 発達支援保育 おおむね3才以上の障がい児等を、他の幼児とともに公立保育園で集団保育することにより当該児の発達を支援し、福祉の増進を図った。 (3) 緊急一時保育 緊急の事由により保育を必要とする児童を公立保育園で一時的に受入れた。		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額(千円)	651,868	706,811	
		一般財源の比率(%)	77.4	78.7	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 各園の職員体制について、保育基準は満たしているが、さらに質の高い教育・保育の提供に当たって、会計年度任用職員の確保が課題となっている。					

3	所管室課	保育幼稚園室	事業名	公立保育所管理事業	
事業概要					
公立保育所管理					
活動実績					
【紙おむつの廃棄処分による拡充】 公立保育所の光熱水費や修繕費用のほか、施設の維持管理に必要な経費の執行に関する業務を行った。		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額(千円)	297,502	265,697	
		一般財源の比率(%)	76.3	57.4	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 施設の老朽化により、維持管理に必要な修繕等の経費が増加しており、大規模修繕等、抜本的な対策が必要である。					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
保育幼稚園室	公立小規模保育施設運営事業		
保育幼稚園室	公立小規模保育施設管理事業		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	411	施策	就学前の教育・保育の充実
管理事業	公立保育所等事業	所管部局	児童部

4	所管室課	保育幼稚園室	事業名	公立幼保連携型認定こども園運営事業	
事業概要					
教育・保育、発達支援保育、緊急一時保育					
活動実績					
【新型コロナウイルス感染症対策による拡充】					
(1) 教育・保育 公立幼保連携型認定こども園における教育・保育の実施及びその運営に必要な経費（会計年度任用職員の給料支払い、被服や膳食材料の購入等）の執行に関する業務を行った。 ・入所児童数（各年度4月1日現在） 令和元年度・・・141人（1園）、令和2年度・・・144人（1園）、令和3年度・・・138人（1園） (2) 発達支援保育 おおむね3才以上の障がい児等を、他の幼児とともに公立幼保連携型認定こども園で集団保育することにより当該児の発達を支援し、福祉の増進を図った。 (3) 緊急一時保育 緊急の事由により保育を必要とする児童を公立幼保連携型認定こども園で一時的に受入れた。		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額（千円）	81,522	88,917	
		一般財源の比率（%）	79.0	81.6	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 各園の職員体制について、保育基準は満たしているが、さらに質の高い教育・保育の提供に当たって、会計年度任用職員の確保が課題となっている。					

5	所管室課	保育幼稚園室	事業名	公立幼保連携型認定こども園管理事業	
事業概要					
公立幼保連携型認定こども園管理					
活動実績					
【紙おむつの廃棄処分による拡充】					
公立幼保連携型認定こども園の光熱水費や修繕費用のほか、施設の維持管理に必要な経費の執行に関する業務を行った。		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額（千円）	12,496	30,301	
		一般財源の比率（%）	88.8	92.4	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					

	所管室課		事業名		
事業概要					
活動実績					
		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額（千円）			
		一般財源の比率（%）			
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名